

令和2（2020）年5月11日

保護者の皆様・児童のみなさん

国立市立国立第二小学校
校長 小林 理人
図工専科 久保 昭夫

図工室 だより

今回、図工室からのメッセージを伝えるために「図工室だより」をつくりました。保護者の皆様と二小の児童の皆さんに向け発信させていただきます。

「ステイホーム」で過ごす時間、気持ちを整えるためにも、気分を切り替えるためにも、絵を描いたり、工作をしてみたり、色水あそびをするのもいいですね。新緑や野に咲く花、青空の美しさをながめて感じるだけでも図工の大切な感性を育むことになります。そんな時間もつくってみてくださいね。

図工では全学年共通で以下の自由課題をだします。この中からやってみたいと思う課題があれば、選んで自由に取り組んでみてください。（低学年のみなさんは、おうちの人と一緒に取り組んでも大丈夫です。）指定の紙でも、自分で用意した紙に描いてもかまいません。

提出日は学校再開が決まったら、お知らせします。また図工室で、みなさんと元気に制作できることを楽しみにしています。

自由課題 1

「国立二小70周年 ゆるキャラ」をつくろう！

国立二小は今年70周年を迎えます。そこで70周年を祝う「ゆるキャラ」を描いてみましょう！テーマ「つづく つながる 夢の学び舎」をイメージできたり、みんながもっと二小が大好きになったりするキャラクターを考えてみてください。

つくるポイント次の3つです。

- (1) 二小になじみ深い動物や植物をモデルにする。
2つの生き物を合体させてもいいです。
(ちなみに国立市のゆるキャラ「くににゃん」は「国立駅舎」と「ねこ」がモデルです。)
- (2) 色もしっかりぬりましょう。
- (3) テーマの言葉「つづく」「つながる」「夢」「学び舎（校舎）」をイメージできると、さらにいいです。

国立市は、「くににゃん」です。



※学校再開後、みんなで代表作品を決めて配布物やホームページなどで使わせていただきます。
日程や方法は学校再開後、発表します。

自由課題2

身近な「大切なもの」スケッチ

「ステイホーム」(家にいる)の中で感じる美しいもの、大切なものを絵にしてみてください。鉛筆、クレヨン、絵の具、ペンなど、何を使ってもいいです。紙の大きさも自由です。大切な家族、窓から見える景色、自分だけの宝物など、見つめてみてください！

紙はお家で用意できる紙でかまいません。学校の画用紙を使いたい場合は、登校日など学校に来た時に先生からもらってください。



※学校再開後、校内掲示や「図工だより」などで作品を紹介したいと思います。

ずこうしの つぶやき

きれいな空と、「はなれて つながる」存在 (そんざい)

「わー、きれいな雲だよ！先生！」昨年度、秋ころ、6校時を終えて、作品を運んでいる時に、階段おどりの窓から空を見た6年生が声をあげてくれたことがありました。空には午後の西日に照らされて輝く雲と透き通るような空の青色がありました。6年間一緒にすごした児童が、目の前にあらわれた自然の美しさに気が付き、伝えてくれたことが、とてもうれしかったです。

最近読んだ本に次のような言葉がありました。「人を癒(いや)し、鼓舞(意味:「はげますこと」)しうるのは技術力や知識ではなく、哲学や価値観(意味:ものの考え方)ですらなく、それをつくり届ける人の存在と思う」(西村佳哲『自分をいかして生きる』ちくま文庫 2011年)

大変なこの時に「力」になるのは心つながった「存在」そのものなのではないかと改めて感じます。今こそ「感動するほどの美しい空」、「何よりも大切な家族」「大好きな友達、学校」といった、かけがえのない存在とつながることが大切であり、つながるための感性を育むのが「図画工作・音楽」なのだと思います。「ステイホーム」の中で「はなれて つながる」学びを二小として進めていきたいと思っています。

